

令和元年度

肺がん検診・ 大腸がん検診・ 胃がん検診を実施します

簡単な
検体郵送による
自己検診



当組合では、組合員及び加入の家族を対象に、下記要領により郵送によるがん検診を実施いたします。定期的に検査を受けることが早期発見・早期治療の決め手となります。自宅で簡単に受診できますので、ご自身の健康状態を把握するためにもぜひこの機会をご利用ください。

実施要領

対 象 者

組合員及びその家族
*家族の方は当組合の被保険者に限ります。

検 診 費 用

無料(全額組合負担)

検 診 項 目

① **肺がん検診**：喀痰細胞診
(3日分の喀痰を採取)

② **大腸がん検診**：便検査2日法

③ **胃がん検診**：①・②血液検査
*専用の器具を使い、指先から採血します。
③ 便検査



下記項目①～③いずれか1つ選択してください。

検査項目	ポイント
① 胃がんリスク	胃がんになるリスク・萎縮性胃炎に至るリスクを知りたい方に推奨
② ペプシノゲン	胃の粘膜の状態(胃の老化度)を知りたい方・胃粘膜の経年変化を知りたい方に推奨
③ 便によるピロリ(便検査1日)	過去ピロリ菌検査(呼気・血液)が陰性だった方・幼少の方(非浸襲性のため)・ご家族に胃の疾患がなくピロリ菌陰性の可能性が高い世代(39歳以下)の方に推奨

申 込 方 法

- ◆ **FAXでお申し込みの方**：別紙の「がん検診申込書」に必要事項を記載し、P29の検査機関にお申し込みください。
- ◆ **郵送でお申し込みの方**：別紙の「がん検診申込書」に必要事項を記載し、その裏面の封筒組立例を参考に組立て、ポストに投函してください。

申込締切日

令和元年10月末日(消印有効)

検体返送締切日

令和元年11月末日(消印有効)

注意

検体返送締切日までに検体を返送されない場合は、自動的にキャンセルされたものとし、器具代+手数料を徴収いたします。

検査結果通知

検査結果は約3週間で個人宛に通知されます。

※異常があった場合には、専門医による精密検査が受けられるよう、適切な指導をいたします。

また、病院紹介・紹介状作成をご希望の方は、下記検査機関にお問い合わせください。

●申し込みから検査結果が届くまで



検査機関

メスブ細胞検査研究所

- 医療機関紹介
- 紹介状の作成
- 検査へのご質問
- 検査結果へのご質問
- その他

TEL 075-231-2230 (平日9:00~17:00)

FAX 075-211-7400

メール mail@msp-kyoto.co.jp

ホームページ http://www.msp-kyoto.co.jp

お気軽に
お問い合わせ
ください

早期発見のための検診。早く見つければ治療が容易。ぜひ定期的な検診を!

すぐに精密検査を受けられた方と、放置された方の3年間の

医療費自己負担額の差は“約100万円!!”

要精密検査の結果を受け取られたら、すぐに病院を受診し、早期発見につとめましょう。

肺がん検診

中心型肺がんを早期に発見できます!

◆肺がんは死亡者数 No.1!

日本で最も死亡者数の多いがん。

年間6万人の方が亡くなっています。

喫煙との関係が深いことが科学的に証明されていますが、非喫煙者にも発生します。

早期発見できれば治療が可能である一方、肺は血管やリンパ節が多いため、がんの進行が速く、転移しやすくなります。

◆こんな方は受診を!

- ・タバコを吸う、または吸っていた
- ・受動喫煙が気になる
- ・大気汚染(PM2.5など)が気になる

喀痰細胞診は中心型早期肺がんの唯一のスクリーニング法です。

	1位	2位	3位
男性	肺がん	胃がん	大腸がん
女性	大腸がん	肺がん	膵臓がん
合計	肺がん	大腸がん	胃がん

1988年以来、
死亡率トップ!

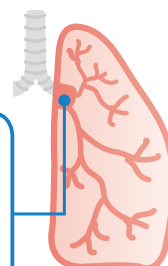
出典:国立がん研究センター がん情報サービス

肺門部・中心型肺がん

喫煙者に多い…咳、たん、血痰などの症状

※喀痰検査で発見

肺が脊柱・心臓に隠れるためレントゲンでは見にくい



大腸がん検診

大腸がん検診を受診することにより
大腸がん死亡率が低下!

トランスフェリンはこの部位に特に有効です。



早く見つければ、早いほど治りやすい。

- ☆ 将来予測がんの罹患数**第1位!**
- ☆ がん死亡原因：女性**第1位!** 男性**第3位!**

Point

人間ドックや一般の自治体の検査よりさらに精度の高い検査です!

この検査は1本の採便容器から一般的なヘモグロビンだけでなくトランスフェリンも同時に測定します。深部大腸の病変（ヘモグロビン陰性がん）の発見に有効です。

胃がん検診

ピロリ菌感染は胃がん発生の必要条件です

ABC分類とは?

ヘリコバクター・ピロリ菌の感染の有無を調べるピロリ菌検査と「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで胃粘膜の萎縮（老化）を客観的に調べるペプシノゲン検査で胃の健康度を評価します。

ABC 分類		ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査	
		陰性	陽性
ペプシノゲン検査	陰性	A 群	B 群
	陽性	C 群	

- ☆ A群：健康的な胃粘膜
(年間胃がん発生頻度 ほぼ0)
- ☆ B群：胃・十二指腸潰瘍に注意
(年間胃がん発生頻度 1000人に1人)
- ☆ C群：胃がんなどに注意
(年間胃がん発生頻度 80~500人に1人)

胃がん発生の仮説



除菌は早めが効果的!

若い人に多い未分化がん

ピロリ菌に感染すると、胃の粘膜が萎縮し、潰瘍・がんを引き起こします。

貧血の原因はピロリ菌!?

胃粘膜がピロリ菌に感染すると、胃粘膜に炎症性変化が起こり鉄分の吸収が阻害され、鉄欠乏性貧血になると言われています。

ピロリ菌を除菌することで貧血症状が改善することがわかってきました。



ピロリ菌除菌治療に健康保険が使えます!

胃・十二指腸潰瘍に加え、「胃炎」にも健康保険が使えます。ただし、そのためには医師による内視鏡での確認が必須です。

★近年、治療薬の変更によりピロリ菌除菌率が飛躍的に向上!

